

第 27 回ドイツ語教授法ゼミナール開催のお知らせ

第 27 回ドイツ語教授法ゼミナールを下記の通り開催いたします。多くの皆様の参加を心よりお待ちしております。

総合テーマ：Texte beurteilen –Überlegungen zum Umgang mit Schreibprodukten
im DaF-Unterricht

日 程：2023 年 3 月 15 日（水）～3 月 17 日（金）

招待講師：Sandra Ballweg 教授（Universität Paderborn, Fakultät für
Kulturwissenschaften, Institut für Germanistik und vergleichende
Literaturwissenschaft, Fach Deutsch als Zweit- und Fremdsprache und
Mehrsprachigkeit）

会 場：多摩永山情報教育センター
206-0024 東京都多摩市諏訪 2-5-1

<https://www.tamanagayama.com/>

参加費：29,000 円（日本独文学会会員の学生・院生，非常勤講師の方には参加費補助を検討しています）

定 員：40 名

参加申込締切：2022 年 12 月 15 日

参加申込：<https://www.daf-seminar.jp>よりお申し込みください。

※参加は申し込み順に受け付けますが，最終的な選考は日本独文学会理事会で決定いたします。

※中国・韓国・台湾のゲルマニスト関連団体の方が申し込む際は，略歴および主要業績リストを提出してください。参加費は 29,000 円です。

※日本独文学会会員以外の方が申し込む際は日本独文学会会員（学生・院生の申し込みの場合は指導教員）の紹介が必要です。紹介者の氏名をお知らせください。また他に略歴，参加希望理由（ドイツ語で 150 語程度），業績リスト（研究業績がある方）を申込時に提出してください。参加費は 39,000 円です。

外国語授業において、学習者は「書く」能力の育成のためにテキストを書く機会があります。しかし、学習者が作成したテキストに対する指導の方法はさまざまです。例えば、学習者とテキストの詳細について議論する、教師が直接テキストに手を加えるなどがあります。指導では、テキストの内容や構成にかかわる内的な部分と、文法や表現形式などのテキストの表層部分に焦点を当てることができます。しかし、教員が苦勞して添削したテキストは、学習者に一度も確認されずに、そのまま引き出しやファイルに仕舞われてしまうことも少なくありません。

学習者が作成したテキストの指導や評価にあたっては、どのような添削やコメントの仕方があり、またどういったフィードバックが学習者にとって有益となるのでしょうか。あるいは、形成的評価の形式を、学習者の書く作業過程の発達とどのように結びつけることができるのでしょうか。

これらの疑問を出発点として、この教授法ゼミナールでは、学習者の書く能力の育成や成果物としてのテキストに対するフィードバックや評価におけるさまざまなアプローチに取り組みます。特に、形成的評価のアプローチや **Schreibkonferenzen** (※)、ポートフォリオ、ピア・フィードバックの活用について考察します。ゼミナール当日は、他の参加者と一緒に指導のアプローチを考え、議論し、この分野における各自の研究活動の可能性を発展させます。

※学習者同士がテキストの改善に向けて協議する授業内活動の一つで、協働学習におけるライティング活動として位置づけられている。

招待講師には Paderborn 大学の Sandra Ballweg 教授をお招きします。過去には、Bielefeld、Kassel、Darmstadt、Marburg 大学にて教鞭をとられました。専門分野はライティング支援、ポートフォリオ活動、形成的評価で、それらに関する研究と教員養成・研修に取り組まれています。ライティング能力の促進とその評価のため、スイス・ティチーノ州の州試験ではアドバイザーとしても従事されていました。

<https://sballweg.de>

参加者が互いに自らの体験について意見を交換し合い、自身の授業実践を見直すきっかけを促すこともまたゼミナールの目的です。DaF の専門知識は必ずしも必要ではありませんので、どの研究分野の方にもご参加いただけます。また、過去に教授法ゼミナールに参加したことのない方も奮ってお申し込みください。

ゼミナール中に、テーマに関連する研究発表（ドイツ語で 15 分）を希望される方は、参加申し込みの際に「研究発表希望」と記し、発表題目と発表要旨（ドイツ語で 250 語程度）を添付してください。なお、発表者の最終決定は実行委員会にご一任ください。

第 27 回ドイツ語教授法ゼミナール実行委員会

Olga Czyzak（実行委員長），Elvira Bachmaier，村元麻衣，坂本真一，武井佑介，Carsten Waychert，Nancy Yanagita，Manuela Sato-Prinz (DAAD)

お問い合わせ先：daf2023-open_AT_jgg.jp（_AT_ には@を入れてください）